



ARGONAUTES

かわら版

～書物逍遥～

文学部国際言語・文化学科 教授 浅野則子

大学で文学を教えていると、自宅でも大学の研究室でも書物に囲まれて暮らしている。こういう生活がごく普通になって久しいが、私にとっての書物との出会いには、どのようなことがあったのだろう。今、自宅の書棚の前で本を手に取りながら自分と書物との出会いのことを思い返している。

小学生の頃、月に一度、書店から本が届いた。学校から帰るとその本は私の目につくようにテーブルの上にも置かれていた。心待ちにしていた私がすぐ読めるようにという母の配慮ではない、書棚の飾りとなりつつある本を私の目に触れさせようとする母の思いだったことは後で知ることとなる。その本とは小学館が出していた『少年少女世界名作文学全集』であった。私にとって「文学」との出会いはこのシリーズであったのだ。半ば強制的に私はこのシリーズを読まされることとなった。毎月届く本。しかも月に二冊のこともあった。外に遊びに出るために私はこれらの本を読んだ。私の知らない国、知らない場所、私から遠い時間。どこかまったく関係のない世界であったはずの文学全集であったのに、いつか私は地球儀で物語にえかがれた国を探しているようになった。当時の私には遠い世界が私の頭の中に広がっていったのである。私にとって文学との出会いは、知らない世界を想像させるものであった。

しかしながら、次第に生意気になった私は教科書に載っている「文学」にまた嫌気がさす。だからと言って教科書以外の「文学」を探すこともせず、高校生になった頃、読む本は、ノンフィクションがほとんどであった。「新書」というものを初めて買ったのもこの頃である。そんな私にとって「文学」との第二の出会いは、高校二年の時に読んだ西脇順三郎の詩集「Ambarvalia」であった。

『ギリシア的叙情詩－「天気」』

(覆された宝石)のやうな朝

何人か戸口にて誰かとさやく

それは神の生誕の日。

この詩を読んだとき、まさしく私は衝撃を受けた。言葉が今まで読んできたものとは違うのである。意味を持って説明するための言葉ではなく、言葉そのものが輝きながら芸術となっているように思えた。何を意味するのか、どこにあるのか、誰のためなのか・・・そんなことを遙かに超えた言葉が存在していた。言葉の豊かさ、拡がりというものを私に教えてくれたのは、この一冊だといってよい。私はこの一冊で「文学」に近づくこととなった。韻文の言葉の美しさを考えようとして、この道に入ったのだが、今の専門は古代和歌である。いつか、西脇の詩の世界であるギリシアに行って私の頭の中にある世界と比べてみたい。多分、西脇の世界は私の頭の中にあつた世界より数段美しかったことを知ることになるかもしれない。その衝撃はまだ先の喜びとしてとっておこう。

目次：

書物逍遥	1
図書館の使い方	2
平成19年度NII業務分析表	3
1階にカラーコピー機導入	3
プリンター設置	3
紀要の電子化	3
わが著書を語る	4

図書館の使い方

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。大学生、短大生となり、図書館を活用する機会も増えていくと思いますので、簡単な図書館の利用方法をお教えます。また、教職員の方や、2年生以降の方もおさらいしていきましょう。学生と司書のQ&A形式で行っています。「情報リテラシー2009」(4月末刊行予定)に、より詳しく載せますので、そちらもご覧下さい。

*カウンターで配布します。



学生



司書



図書館の貸出・返却はどの様にすればいいの？



- ◆1階カウンターで貸出・返却ができます。
(国際経営学部図書室は、自動貸出機で行ないます)
- 貸出*…学生証が必要です。
- 返却 …本のみで結構です。
- *禁帯出と指定書のシールが付いている本、また、延滞がある場合は、貸出できません。



本や、雑誌を探したいのですが。



- ◆1階～3階の各階に2台ずつ、自館のOPAC*検索専用のパソコンがあります。1階にあるインターネット用のパソコンからも図書館HPIにアクセスすると検索が可能です。
- *OPAC…Online Public Access Catalogの略です。
- 研究室や自宅からでもインターネット上で図書館にどのような本があるか、検索できます。



図書館に探している本、雑誌がないようなのですが。



- ◆別府大学内(大分校、4F書庫、2号館1F書庫)の場合は、利用票に記入してください。
- 別府大学にない場合は、国内外の他大学の図書館から、資料そのものや、資料の複写物を取り寄せることができます(ILL)。わからないことがありましたら、カウンターの職員にお尋ねください。

随時図書館の使い方

をお知らせしていきます。お楽しみに。

平成19年度NII業務分析

国立情報学研究所では、別府大学を含め大学や研究機関約1,200組織が協働して目録（NACSIS-CAT）を作成している。さらに、このオンライン目録を利用して各組織機関間の文献複写や資料そのものを貸し借りする現物貸借（Inter Library Loan=ILL）を行っている。

このシステムを有効活用すべく、年1回業務分析表を公開し、各大学の運用状況を見ることができるようになっている。今回は、「平成19年度NACSIS-CAT/ILL」から本学の状況を分析したい。

1. 図書

まず、2007年度の入力件数では、10,071件を登録しており、私立大学平均5,579件をはるかに上回っている。この年は購入が3,111冊、寄贈が3,248冊であり、今まで積み残していた資料の登録も進んだことを物語っている。

2. 雑誌

私立大学平均1,099件に対し448件の所蔵更新となっている。これについては、学内では検索可能な雑誌日々受付のチェックインデータが、自動的にNACSIS-CATに登録されないこと。研究室分の雑誌を完全に把握できていなかったこと。規模の大小があり、単純に私立大学平均との比較はできないことなどの要因が大きいと思われる。なお、この年の11月からは雑誌の集

中化が実現し、今後は学内同様の所蔵更新データがNACSIS-CATで見れる比重が高まっていこう。

3. ILL

(1) 文献複写

他機関への依頼は、852件、受付は423件で約2倍の「輸入超過」となっている。私立大学平均では、依頼が785件、受付が783件で、他大学に比べ複写の対象となる雑誌が不足していることが一因に挙げられよう。また、複写受付から発送までの所要日数の平均は0.34で私立大学平均の0.6に比べ迅速な複写業務が行われているといえる。

(2) 現物貸借

他機関への依頼は、95件、受付は62件で、私立大学平均は、依頼75件、受付98件で、若干「輸入超過」の数値となっている。また、受付から発送までの所要日数は、1.04で私立大学平均の0.68に比べ遅い傾向が見える。これは、所蔵場所が分散していること。所在目録の整備が十分でなかったことの原因が大きいと考えられるが、18年度及び20年度の遡及入力事業により「自前調達」や業務の効率化が期待できる。

ILLについて

4月からILLの申込みが昨年度に比べて増えています。

夏休みには、各図書館も休館することがありますので、卒業論文、修士論文で申込みされる学生は、余裕を持って早めに申込みを行ってください。



～教職員のみ～

オンライン図書／購入については、学科編成などのため、詳細は改めてお知らせいたします。

担当：財前

1階にカラーコピー機を導入

教職員、院生の方に朗報です！

今まで、白黒コピーのみしか使用できませんでしたが、ついに3月末よりカラーコピー機を導入しました。最新式ですので、スピードアップは勿論、ポスターの作成など

も行なうことができます。

また、雑誌等の、カラー部分や、写真などもくっきりとコピーすることができます。ぜひご活用ください。



わが著書を語る

別府大学客員教授 辻野 功

「大分学Ⅱ-大分はドイツの魅力」(明石書店) 2009年1月発行

別府大学教授最後の年でお且つ40数年の大学教員生活最後の年の2009年1月に、書き下ろしで『大分学Ⅱ-大分はドイツの魅力』を明石書店から出版した。「ドイツの魅力」とは「フランスの魅力」に対比した言葉で、私の造語である。フランスは早くから中央集権が進み、世界に冠たるパリという都市が生まれた。隣のドイツは奇しくも廃藩置県で大分県が生まれた1871(明治4)年に、緩やかな連邦制の国として誕生した。従ってドイツにはパリのような他に冠絶した都市は生まれず、地域毎に歴史と文化が異なっている。大分県も同様で、お隣が熊本県⇨熊本藩だったのと違い、8藩、3藩の飛び地、2旗本領、天領、宇佐神宮領の15の地域から構成された。従って大分県は、地域ごとに歴史と文化を異にしている。そこに大分県の魅力がある。

『大分学Ⅱ-大分はドイツの魅力』では、Ⅰ豊後⇨九州から小藩分立へ、Ⅱ大分諸藩点描、Ⅲ競い合いの文化・一村一品運動、Ⅳ統合の文化・大分トリニータ、Ⅴ周遊の大分観光、から構成されている。「大分トリニータ」の章だけは、檜本讓司・大分県企画振興部長に執筆して頂いた。

本書は購買部でも販売しているし、図書館にも納めてある。大分に生まれ育った方のみならず県外出身の方にも是非本書を読んで頂き、大分の歴史と文化、即ち「ドイツの魅力」を知って頂きたい。大分の歴史と文化は、就職活動にも不可欠の教養であるのだから。

なお本書の出版記念会が私の71歳の誕生日に開かれた。その模様は「パノラマ風景写真で観光する大分県」というウェブサイトで「大分市」→「イベント・祭り」→「辻野先生のお祝い」と進んで頂くと、ご覧頂ける。このウェブサイト、これまた大分県を知る素晴らしいソフトである。『大分学Ⅱ』と共に多くの人に知って頂きたいものである。



図書館1階閲覧室

「大学・教職員関係出版物」

のコーナーにあります。

5月の第3水曜日に図書館活用講座を行います

昨年度に引き続き、図書館活用講座を行います。5月20日の13:00~14:00で行う予定です。講座を受けたい方は、カウンターで申し込みの手続きをおこなってください。

またグループ単位(3~4名以上)で、事前に申し込みをしていただければ、講座を行なうことは可能です。ぜひそちらでも図書館の申込みを行ってください。

✉編集後記✉ 今回載せることのできなかったもの(国際経営学部「ラーニング・コモンズ」)、リポジトリ、オンライン申し込み(ILL)などは、次回の特集号でお知らせしていきたいと思えます。お楽しみに♪ (立花)

別府大学附属図書館

〒874-8501 別府市大字北石垣82

電話0977-66-9633 FAX 0977-66-9632

HP: <http://www.beppu-u.ac.jp/lib/>